

# 会 議 録

## 1 会議名

第3回名立区公共交通サービス検討分科会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 名立区内のスクールバスと路線バスの混乗化に向けた検討（公開）

## 3 開催日時

平成27年8月19日（水）午後6時30分から午後8時00分まで

## 4 開催場所

名立区総合事務所 2階第3会議室

## 5 傍聴人の数

0名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：佐藤利枝子、原田秀樹、三浦正四郎、三浦元二、山口敏夫
- ・ 地域協議会：塚田 正
- ・ 公共交通懇話会：畑 虎夫
- ・ 木田庁舎：布施新幹線・交通政策課副課長、池田新幹線・交通政策課係長、武藤新幹線・交通政策課主事、矢端新幹線・交通政策課主事
- ・ 名立区：牛木次長（総務・地域振興グループ長兼務）、細谷班長、佐野主事

## 8 発言の内容

### 【三浦（正）分科会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 開会の挨拶

### 【塚田地域協議会長】

- ・ 挨拶

### 【三浦（正）分科会長】

- ・ 本日は総合公共交通計画について、市主幹課と意見交換を行うため、木田庁舎の新幹線・交通政策課の方をお招きしている。

- ・出席者に挨拶を求め、各出席者が挨拶を行う。
- ・今年度はどのように計画を進めていく予定なのか。

**【布施新幹線・交通政策課副課長】**

- ・今年度は何年度頃にどのような取り組みを行うかという、具体的なアクションプランを策定する考えでいる。
- ・昨年度は公共交通懇話会と意見交換会と協議を行い、①スクールバスと重複している「名立線」の混乗化の検討、②ダイヤの見直しなど、名立駅、うみてらす名立での乗り継ぎ環境向上に向けた検討、③「名立線」と「能生線」の路線再編についての検討、という3つの検討項目が挙げられたため、これをいつごろ、どのように取り組んでいくかを今年度計画していきたいと考えている。

**【三浦（正）分科会長】**

- ・委員等に質問や意見を求める。

**【三浦（元）委員】**

- ・総合公共交通計画については懇話会が中心となって検討を行っていくようだが、我々分科会は地域の立場として、議論や関係者との意見交換等を行い、地域としてこの問題に対するしっかりとした考えをもつ必要があるという考えで検討を行っている。
- ・我々分科会にて地域の意見を集約し、懇話会に意見の提案を行うか、若しくは地域協議会委員が懇話会委員の一員として参画できればと考えている。
- ・先ほど説明のあった3つの地域メニューの今後の進め方について、具体的なイメージを教えてください。

**【布施新幹線・交通政策課副課長】**

- ・策定スケジュールについては今年度中に策定する予定である。各地域で回数は異なると思うが、今年中に2、3回程度、懇話会での協議を行っていただく考えでいる。
- ・利用促進という観点にも着目し、人口減少の中、利用者を増やすということはなかなか難しいと思うが、減少率をできる限り緩やかなものにできないかということについても合わせて協議していただきたいと考えている。
- ・8月27日に市の計画を最終的に承認する場である、地域公共交通活性化協議会が開催される。そこで今お話した、方針等について頭出しをしたいと考えている。
- ・名立区においては分科会が活発的に議論をしていただいているため、懇話会の委員の一員として参画いただく方がよいのか、分科会に懇話会委員をお呼びして意見を述

べられるのかがよいのかは、今後総合事務所と相談したいと思うが、懇話会と分科会と一緒に協議を行っていきたいと考えているので、よろしく願います。

**【三浦（元）委員】**

- ・議論の内容については地域メニューの3つになるのか。

**【武藤新幹線・交通政策課主事】**

・基本はその3つの項目になるが、今回策定を予定しているアクションプランの最終的な目標は、総合公共交通計画の中で記載している指標であり、そこに向けて協議をしていきたいと思う。

・指標は利用者や収入が影響してくる部分であるため、策定を予定しているアクションプランは細かい部分についても決めていきたいと考えている。

**【三浦（元）委員】**

・詳細なところまで決めるということになると、時間的余裕がある訳ではないと思う。

・論点をどのように整理するかが一番大きな問題だと思うが、論点を明確にしすぎてしまってもどうなのか、という考えもある。

・地域の皆様からもアンケートを取らせていただいたが、地域メニューに関して、改めて地域の方の意見を聞く場を設ける必要があるのではないかとと思う。

・スクールバスに混乗するのか、それとも路線バスに混乗するのか、という方向性がまだ決まっていないが、どちらかに決定する前に、両方の案について地域の皆様に意見を伺う方がよいのではないかとと思う。

**【武藤新幹線・交通政策課主事】**

・スクールバスは市が委託をし、路線バスは赤字分を市が補填している。利用者が少なくなってきたことから、どちらかに歩み寄っていくことが必要と考えている。

・どちらがよいのかはそれぞれメリットとデメリットがあることから、今後検討をしていきたいと考えている。

**【三浦（元）委員】**

・市には名立としてスクールバスへの混乗と路線バスへの混乗を実施した場合に、考えられるメリット・デメリットが分かる資料を提供いただきたい。

**【三浦（正）分科会長】**

- ・事務局に本日の資料の説明を求める。

**【佐野主事】**

- ・資料の説明を行う。

**【畑懇話会長】**

- ・私としては名立区にはデマンドが馴染まないのではないかと思う。そのため朝・夕だけ学生のために回数を増やし、それ以外の間は数本必要な時間帯に走らせればよいと思う。

**【三浦（元）委員】**

- ・次回からコストの部分については、ランニングコストと補助金等の経費を分けて記載いただくようお願いしたい。

**【佐野主事】**

- ・承知した。

**【三浦（元）委員】**

- ・スクールバスへの混乗となった場合、地域の皆様は路線バスがなくなってしまうのではないかと心配をされると思う。名称等も含め、地域の皆様が心配しないよう、しっかりとした説明が必要だと考える。

**【武藤新幹線・交通政策課主事】**

- ・呼び方は「市営バス」等が一般的かと思う。
- ・三和区ではデマンドを取り入れているのだが、デマンドが不便という意識が先行しており、デマンドだから乗らないという意見もあるようだ。
- ・ただ、デマンドといってもいろいろな工夫ができると考えている。

**【三浦（元）委員】**

- ・一番大切なことは分かりやすくすることだと思う。
- ・工夫する程、工夫に対する説明も必要となる。高齢者の利用が多いことから、分かりやすいものにした方がよいと思う。
- ・スクールバスへの混乗となった場合、学校の校外学習などの移動の際はどうか。

**【武藤新幹線・交通政策課主事】**

- ・大島区の場合は、スクールバスの車両と別で、区の所有しているマイクロバスがあり、その車両で対応している。
- ・例えば名立区では、通学時間帯は2車両とも運行させるが、日中は29人乗りの車

両だけを運行させ、余った57人乗りの車両を校外学習などに対応できるようにするという案も考えられる。

**【三浦（元）委員】**

・今回の公共交通の見直しについて、現在の利用者のことだけでなく、利用者を増やすような方策も合わせて考えていただければと思う。

**【布施新幹線・交通政策課副課長】**

・利用促進についても併せて検討していく考えでいる。

**【三浦（正）分科会長】**

・他に意見や質問を求めるもないため、事務局に会議録の確認者の発表を求める。

**【佐野主事】**

・会議録の確認者：佐藤委員

**【三浦（正）分科会長】**

・閉会の挨拶

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 223）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。